

シンガポール国立大学(NUS) シンガポール国立大学保健機構(NUHS)

(1) どのような機関ですか？

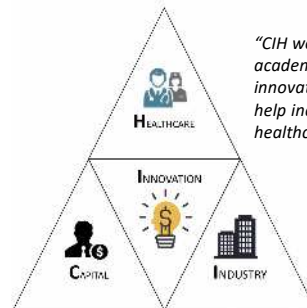
- シンガポールでは、保健省傘下の医療施設持ち株会社MOHホールディングの下で3つの公的ヘルスクラスタが運営されており、そのうちの1つがシンガポール国立大学保健機構（NUHS）です。
- NUHSは、中心となるシンガポール国立病院（NUH）などの急性期機能から、プライマリケアを担う診療所まで幅広く傘下に置いています。さらに、シンガポール国立大学（NUS）との共同研究開発なども実施されています。

ここがすごい！

➤ Centre for Innovation in Healthcare (CIH)

NUHSには、“Centers of Excellence”として、6つの研究センターが設置されています。

そのひとつとして、Alexandra Hospital（シンガポール最初の総合病院、2018年にNUHS傘下に移管）に設置されているCentre for Innovation in Healthcare (CIH)は、ヘルスケア分野のイノベーション促進に向けて、イノベーター・産業界・投資家と臨床医のマッチングを行い、実用化に向けた妥当性評価、医療技術評価などの支援を行っています。



“CIH works with enabling partners such as academic institutions, public and private innovation agencies, and market partners to help increase the successful adoption of healthcare innovations.”

(出典) NUHS “Center of Excellence”パンフレット及びCIHWebサイトより抜粋

＜組織概要＞

組織名	シンガポール国立大学 National University of Singapore (NUS) シンガポール国立大学保健機構 National University Health System (NUHS)
Webサイト	(NUS) http://www.nus.edu.sg/ (NUHS) https://www.nuhs.edu.sg/Pages/Home.aspx

(2) 神奈川県との関係は？

- 神奈川県は、2016年に、シンガポール科学技術研究庁、シンガポール国立大学及びシンガポール国立大学保健機構との間でMOUを締結しています。
- このMOUを活かして、2016年度より毎年度、県内外からライフサイエンス分野の参加企業を募って企業訪問団を組成し、現地訪問を実施してきています。
- なお、MOUによる連携に加え、ジェトロ・シンガポール事務所にも駐在員として県職員を派遣しており、ASEANを含めた広域ネットワーク支援も可能です。



＜MOU概要＞

MOU締結時期	2016年6月30日（2013年11月に一般社団法人ライフイノベーション国際協働センターが締結したMOUを拡充し、県が再締結）
MOUの目的・内容	◆ ライフサイエンス、ヘルスケア、未病コンセプトに基づく技術及びサービス、ヘルスイノベーションスクールを含む人材育成、人口高齢化の分野における連携協力
関連URL	http://www.pref.kanagawa.jp/docs/mv4/cnt/f531396/p1049088.html

(3) 国外企業（日本企業）への支援はありますか？

- NUHSでは、国外企業に対して、NUHSまたはNUS所属の研究者などとのマッチング（共同研究支援）や、研究助成金などの支援が提供されています。

a. ワンストップ相談窓口/専門家派遣	b. 規制/制度対応支援	c. 市場情報提供/市場調査支援	d. 現地企業等の紹介・ネットワーキング	e. 現地研究者とのマッチング（共同研究支援）	f. 施設・設備供与
△	△	△	△	○	△
g. 立地支援/税制優遇	h. 支援金/奨励金制度	i. 補助金プログラム	j. その他		
△	○	△	△（A*STAR）	○：提供あり -：提供なし △：地域内の他団体が提供	

※2019年11月に神奈川県がMOU締結先機関に対して行ったアンケート調査の回答に基づいています。

(4) 国外企業等とどのようなコラボレーションをしていますか？

- 国外企業等とのコラボレーションにおいては、特に、次のようなテーマが重点領域とされています。

a. 再生医療・遺伝子治療	b. 個別化医療	c. バイオテック/創薬	d. ヘルステック/AI活用	e. 低侵襲治療機器	f. 高精度診断機器	g. 計測・分析・評価技術	h. 受託研究・製造・開発	i. 希少疾患	j. がん/悪性新生物
○	○	○	○	○	○	○			○
k. 感染症	l. 生活習慣病	m. 認知症	n. 生活機能（フレイル予防等）	o. メンタルヘルス・ストレス	p. その他				
○	○	○	○	○		○：特に重視している領域			

※2019年11月に神奈川県がMOU締結先機関に対して行ったアンケート調査の回答に基づいています。

例えば…

➤ 尿流量測定装置の共同臨床研究

日本企業の開発した尿流量測定装置の測定値が、従来の尿流量計によって達成される測定値に匹敵するかどうかを調査する臨床研究の一環として、2015年2月に泌尿器科クリニックに同装置を設置。当研究は、NUHSのChiong教授の主導で実施されたもので、研究結果としては、同装置が従来の尿流量計よりも優れていることが示唆され、この結果は2016年7月に開催されたアジア泌尿器学会の会議および2017年3月に開催されたEAU会議（ロンドン）で発表されたという事例を、NUHSよりご紹介いただきました。

※Web等の公開情報及び2019年11月に神奈川県がMOU締結先機関に対して行ったアンケート調査の回答に基づいています。MOU締結先機関が行ったコラボレーション事例であり、必ずしも神奈川県とのMOUを活用した事例ではない点、ご注意ください。

<お問い合わせ先>

神奈川県 政策局ヘルスケア・ニューフロンティア推進本部室 最先端医療産業グループ
 TEL：(045) 285-0187 メール：hcnf.advanced-med@pref.kanagawa.jp